



こんにちは ひぐち英明

301号 2016年10月16日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

第11回左京平和の夕べ 沖縄との連帯感広がる



今年の「左京平和の夕べ」は、沖縄東村高江でヘリパッド基地建设反対の取り組みをされている伊佐育子さんが基調講演。130人の参加者が、それぞれ「自分ができること」を感じることができよう集いになりました。

市原町で、雨が降ると家の裏のえん堤から出る水が家の庭から床下に流れ込んで大変、との相談をお聞きしてから数年が経過しています。その後、「静市地域要求を実現する連絡会」のみなさんと一緒に、土木事務所などと、粘り強く要望を行った結果、えん堤の脇の国有地に、排水用の水路を造っていただきました。相談者の方も「これで雨が降っても安心して眠れる」とのことです。私もうれしく思っています。



えん堤からの水を流す水路
相談者の方の家が右奥にある



相談者の方が座っているのは所々につくられたマス

地域のみなさんと一緒に粘り強く要望

市原・えん堤脇に水路が完成



最後は長代川に放流

北泉橋建設に反対意見続出 「道路の安全対策こそ行って欲しい」

■総事業費は12億円以上

京都市は北泉通の高野川への橋の建設と、川から京都工芸繊維大学までの間の道路の拡幅を行うおとしていま

す。この工事には、12億円以上の事業費がかかることが市の資料で示されています。10月4日、橋の建設工事に着工するとい

うことで、工事説明会が行われ100人以上の方が参加しました。

■住民からは反対意見が続出

説明会で住民から出された意見は、「そもそも橋の建設はいらない」、「高野川をはさんだ北泉通の東側も西側も住宅街となっており、保育園の送迎や、小学生の通学路、地域の生活道路として使われており、今でも危険なのに、そこにたかさんの車を呼び込む計画はやめてほしい」、「安全な道路環境を整備してから、橋をつくる工事をすべきで、順番が間違っている」など、反対意見ばかりでした。こうした声に、

■住民の安全対策は置き去り

市の担当職員は「安全対策は警察と相談中で、これから具体策を考える」と答えるばかりでした。

2009年に北泉通への橋の建設を打ち出して、すでに7年が経過していますが、周辺道路の安全確保は一向に行わず、橋の建設だけは反対があろうと何があるろうと強行する・・・こんな強権的な姿勢は絶対に許せません。

写真トピックス

京建労左京支部の「拡大まつり」に府市議員そろって参加→



↑左京健康友の会まつり



各地の区民運動会にお邪魔しました→

ホッと・コム

次女（小学6年）が、プリンをつくりました。材料は、出来合いのプリンの素を買ってきているのですが、今回、次女がこだわったのは容器です。フタ付きの容器を買ってきて、フタにきれいなシールまで貼って、いかにもお店で売っていたかのようにして冷蔵庫にしまっていました。

次女の料理に「対抗心を燃やすのが、秋休み中で時間を持て余し気味の長男（高校1年）です。作品は卵焼き。中に何かを入れてオムレツ風につくっていたので何を入れたのかを聞くと「モツアレランチース」とのこと。気合が入っているというのか、暇人というのか・・・

さて、安倍政権が「地方創生」という言葉をよく使っています。格差と貧困を広げた「アベノミクス」の評判が落ちてきたので、名刺を「地方創生」に変えて、これまでの路線を続けています。地方の隅々まで活性化させるかのようなイメージを振りまいていますが、実は、国から地方への予算を全体として大幅に削りながら、安倍政権が「がんばった」と評価する自治体には、予算の多少の上積みをするというものです。これにつられて、対抗心をむき出しに他の自治体と「競争」しているのが京都市ですが、これでは安倍政権の思いつきです。市民と野党の共闘で、安倍暴走政治を一刻も早くはね返さなければなりません。